

令和4年度 地域再生計画に係る効果検証結果

地域再生計画の名称		計画開始	計画終期		
持続可能な農林業の生産体制の確立と災害に強いまちづくりプロジェクト		令和4年度	令和8年度		
計画の目標					
<p>地方創生道整備推進交付金を活用し、町道と林道を一体的に整備することにより、地域住民の交通の安全性を確保するとともに、農林産物の産地から生産施設への運搬効率を高め、農林業の経営環境の改善や就労環境の向上を図る。</p> <p>また、町道・林道のネットワーク化を推進することで、災害時の迂回機能を強化し、災害に強いまちとしての魅力向上を図り、農林業雇用の創出と併せ人口流出への歯止めをかけ、総合的な地域力の回復と活性化を目指す。</p>					
事業内容					
町道口の坪覚井線 道路改良0.67km、橋梁替え1橋 林道槻木北線 道路開設0.95km 林道犬喰線 橋梁補修1橋					
重要業績評価指標 (KPI) ア	計画時	目標値 (R4年度)	実績値 (R4年度)	達成状況 (R4年度)	目標年月
森林整備の効率化の向上 (5ヶ年平均の森林整備実施面積増加)	223ha	224ha	203ha	地方創生に効果がなかった	令和5年3月31日
重要業績評価指標 (KPI) イ	計画時	目標値 (R4年度)	実績値 (R4年度)	達成状況 (R4年度)	目標年月
槻木地区の主要道路が災害等により遮断された場合の安全安心な迂回路の増	2ルート	2ルート	2ルート	地方創生に効果があった	令和5年3月31日
重要業績評価指標 (KPI) ウ	計画時	目標値 (R4年度)	実績値 (R4年度)	達成状況 (R4年度)	目標年月
町道整備による拠点施設（公共施設、農産物の集出荷施設）への移動時間の短縮	0%	0%	0%	地方創生に効果があった	令和5年3月31日
目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容					
		令和3年度 (基準年度)	令和6年度 (中間年度)	令和8年度 (最終年度)	
基本目標 1 移住世帯の増加		21世帯	28世帯	30世帯	
基本目標 2 間伐による木材生産量の増加		1,320m ³	1,320m ³	1,400m ³	
基本目標 3 林業新規就業者数の増加		1人	8人	12人	
評価		今後の方針			
<p>KPI1については、令和2年7月豪雨により林道が被災しており、度重なる災害により森林整備箇所の変更を余儀なくされ、実施面積については低下している状況にある。しかし、林道の復旧が進み、現在計画されている林道が開設されることにより、森林整備が実施可能な対象森林の増加が期待される。</p> <p>KPI2に關係する林道槻木北線開設事業については、事業進捗が遅れている。しかしこれは、令和2年災に伴う林道災害復旧工事（多良木町発注工事）との重複路線であることから、当該林道開設事業（県発注工事）が1工区体制でしか実施できないことも要因のひとつとして挙げられる。林道災害復旧工事が完了し、工区を増やすことができれば、県営工事の進捗も上がることが見込まれる。それにより、KPIの増に繋がることが期待できる。</p> <p>KPI3に關係する町道口の坪覚井線実施状況については、用地関係は終了しており、残りは工事発注のみとなっている。令和7年度にKPIの目標達成も見込まれる。</p>		<p>林道開設状況等を森林組合等に情報提供することにより、当該林道にて実施可能な森林の調査及び所有者への呼びかけを早期に行うことで整備面積の拡大につなげることができる。</p> <p>林道槻木北線開設事業について、多良木町発注の災害復旧工事が完了次第、工区を増やし2工区体制での工事実施を検討する。</p>			